

2025 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名 霞ヶ関キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 河本幸士郎
(コード番号：3498 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 廣瀬一成
(TEL：03-5510-7653)

「霞ヶ関ホテルリート投資法人」の投資口の
東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場承認に関するお知らせ

霞ヶ関キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：河本幸士郎、以下「当社」）は、当社の連結子会社である霞ヶ関リートアドバイザーズ株式会社が資産の運用を受託する霞ヶ関ホテルリート投資法人（以下「同投資法人」）が、本日、株式会社東京証券取引所より、同投資法人の投資口の東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場について承認を得ましたので、お知らせいたします。

同投資法人は、デベロッパーである当社をスポンサーとする、日本初のデベロッパー系ホテル特化型上場リート（注1）です。同投資法人は、当社グループ（注2）の開発力・運営力を活用し、国内ホテルマーケットで供給が不足する多人数向けホテル（注3）に日本各地で投資することを通じて、日本の観光立国としての発展に貢献しつつ持続的な成長を図り、投資主価値の向上を目指します。

当社ホテル事業においては、多人数向けホテルブランドとして『fav』『FAV LUX』『edit x seven』『seven x seven』を、カルチャービジネスホテルとして『BASE LAYER HOTEL』を全国に展開しており、同投資法人が資産運用の対象としているホテルに関する当社グループの案件数および開発規模も拡大しています。また、当社ホテル事業においては、現在、当社の連結子会社である fav hospitality group 株式会社が運営、マーケティングおよびブランディングを担っており、同社の運営による省人化オペレーションをはじめとする運営費用を抑える取組みにより収益性の強化を図っています。

当社グループは、同投資法人への開発ホテルの取得機会の提供およびホテル運営の支援の両輪で同投資法人の安定した収益の確保および継続的な成長に寄与することを目指します。また、当社グループの「その課題を、価値へ。」という経営理念のもと、「成長性のある事業分野」と「社会的意義のある事業」において、さらなる成長と社会課題の解決に取り組んでまいります。

（注1）「ホテル特化型上場リート」とは、全ての上場不動産投資法人（以下「J-REIT」）のうち、実際に保有している資産全体におけるホテルの割合（取得価格ベース）が90%を超えるものをいいます（2025年5月末日時点までの各J-REITの最新の有価証券報告書、有価証券届出書および適時開示による公表情報その他開示資料に基づきます。）。また、ホテル特化型上場リーートのうち、デベロッパーをスポンサーとするものを「デベロッパー系ホテル特化型上場リート」と称しています。

（注2）「当社グループ」とは、霞ヶ関キャピタル株式会社並びにその子会社および関連会社からなる企業グループをいいます。以下同じです。

（注3）「多人数向けホテル」とは、複数名で宿泊することを前提とし、宿泊料金が宿泊者数ごとではなく一部屋ごとに設定されているホテルを指します。

ご注意：この文書は、霞ヶ関ホテルリート投資法人の投資口の上場承認に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず同投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

1. 投資法人概要

(1) 商号	霞ヶ関ホテルリート投資法人
(2) 所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
(3) 代表者	執行役員 佐藤 正弥

2. 資産運用会社概要

(1) 商号	霞ヶ関リートアドバイザーズ株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
(3) 代表者	代表取締役社長 佐藤 正弥
(4) 事業内容	投資運用業等
(5) 資本金	55 百万円
(6) 出資者	霞ヶ関キャピタル株式会社 100%

3. 今後の見通し

本上場承認による 2025 年 8 月期における当社連結業績への影響はありません。今後、当社連結業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

霞ヶ関キャピタル株式会社 広報・IR 部／TEL：03-5510-7653 MAIL：ir@kasumigaseki.co.jp

ご注意：この文書は、霞ヶ関ホテルリート投資法人の投資口の上場承認に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず同投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。